

8月26日（火）、当社は青森労災病院（八戸市）とともに、六ヶ所再処理工場において汚染傷病者が発生したことを想定した被ばく医療合同訓練を実施しました。

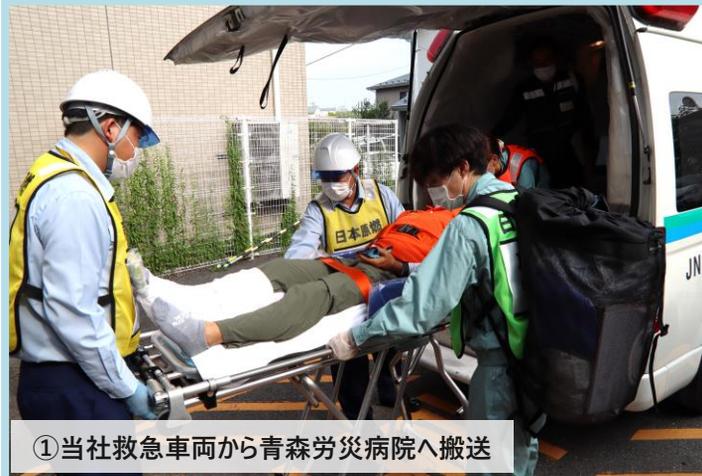
この訓練は、当社施設において、万が一、汚染を伴う傷病者が発生した場合でも、青森労災病院と連携し、搬送や到着後の除染、医療処置を迅速かつ適切に実施することを目的としており、今回で22回目となります。

## 訓練の様子

### シナリオ

六ヶ所村で震度6弱の地震が発生。

作業員がつまづいて転倒し、床に手をついた際に右手を汚染するとともに足首を負傷した。



①当社救急車両から青森労災病院へ搬送



②傷病者引き渡し・状況確認



③汚染した右手の除染処置



④当社による除染処置をした医師の身体サーベイ

## 訓練に参加した社員にインタビュー

みに さやか  
神谷 彩香（働き方改革推進部 健康推進グループ）

今回、初めて被ばく医療訓練を担当しました。今回の訓練では、被ばく汚染傷病者が発生した際の応急処置から除染、医療処置までの手順を確認しましたが、汚染を拡大させないために放射線管理部と連携してチームで対応することの大切さを改めて感じました。今後も青森労災病院をはじめとした医療機関と訓練を通じて顔の見える関係を構築し、有事の際に連携して迅速な対応が行えるよう努めてまいります。

地域の皆さまにご安心いただけるよう、今後も様々な事象を想定した訓練に取り組んでまいります。

